

仙台向山の高校生活

様々な学校行事が生徒の視野を広げ、学校の一体感を創る

学校行事はどの学校でも生徒たちに集団生活の規律と視野の広さを育みます。本校でも年間の様々な行事をとおして、日常とはまた違った環境で、生徒の可能性や個性を育む場として、高校生活に彩りを加えています。



～向陵生の1日～

8:25 登校



向陵生の1日は長くきつい坂道を登ることから始まります。向山高校は県内各地から生徒が集まっています。通学方法はバス・電車・自転車・歩行など様々ですが、最近は電気自転車通学者も増えました。長い階段の先には、向山高校の明るい挨拶が待っています。



8:30 SHR



いわゆる「朝の会」。高校ではSHR（ショートホームルーム）と呼ばれ、その日の授業などの連絡がされます。クラスによっては先生の連絡事は最小限にして、週番で運営しているクラスも見られます。

8:45 授業



12:35 昼休み



午前の授業が終わり、午後の授業のための休憩の時間です。高校では給食ではなく、生徒がそれぞれのお弁当を持ちます。お弁当ではなく、食堂を利用する生徒も数多くあり、季節により限定メニューが出るなど、充実した食堂のメニューは午後の授業のためのエネルギーを蓄えさせてくれます。



13:15 授業



午後は50分×2コマまたは3コマの授業が展開されます。普段の授業は勿論行われますが、その他にも総合的な学習（探究）の時間としての「向陵Plearning」や「LHR（ロングホームルーム）」なども行われ、充実した授業が繰り広げられます。



15:15 (16:15) SHR

いわゆる「帰りの会」。次の日の連絡などがされ、この後は放課となり、清掃・部活動を行います。



19:00 生徒帰宅時間

放課後部活動や自主学習に励んだ生徒たちが学校から完全下校する時間です。この時間に仙台市中心部を見ると、高台から見える夜景が非常に綺麗です。

21:00 (?) 家庭学習

今日学んだ授業の復習と明日の授業の予習、週課題など、家庭での学習は欠かせません。部活動で疲れた身体に鞭打って学習に励みます。大変ですが、志望する大学に合格するために、向陵生は皆これを成し遂げてきました。